

「市政懇談会」ご意見・ご要望を紹介します③

苦情処理の窓口について

<質問>

行財政改革の一つとして、住民の要望や苦情をきちんと処理する部署を設置していただきたいと思っております。できないことはできないこととして、なぜできないかを説明してほしいからです。なしのつぶてでは困ります。それによって、行政と市民の一体感ができるのではないかと思います。

<回答>

秘書課の広報広聴グループが行政相談や苦情を担当しているので、ご連絡ください。また、市民ご意見箱やホームページによる問合せもご利用ください。なお、要望や苦情などに関する説明不足についてはお詫び申し上げ、今後は、そのようなことがないように気を付けてまいります。

ごみ袋について

<質問>

ごみ袋が変更になりましたが、薄くて破れやすいため、住民から不満は出ていないのでしょうか。また、45リットルの袋が値上がりしましたが、その差額で袋をもっと丈夫にしたり、カラス対策の黄色い袋を導入したりするなど、改良の余地があるのではないのでしょうか。

<回答>

ごみ袋につきましては、合併の調整の中で検討し、旧友部・岩間・内原で使っていたピンク色の袋に統一した経緯がございます。旧笠間の袋の厚さは0.03ミリ、友部・岩間が0.025ミリでしたが、平成12年から採用しており、支障がないためこれに決定しました。しかし、袋の強度が弱いという意見が多いので、今後検討していきたいと考えています。袋の値段でございますが、45リットルの袋10枚入りは旧笠間では197円が200円に値上がりし、20リットルの小さい袋につきましては122円が100円に下がりました。また、不燃物処理券は笠間で500円から400円に下がり、友部・岩間で200円から400円に上がりました。差額につきましては、資源物回収への助成や生ごみ処理機の補助などに2,400万円を充当しています。また、水戸市で採用している黄色い袋につきましても、今後検討してまいります。



新市の歴史の編さんについて

<質問>

新市のまちづくりには住民意識の一体化が重要だと思います。それには、3市町の歴史を一体化し、全体の歴史を見ることが大切だと思います。そこで、市長の在任中に新市の歴史の一本化を実現してくれるよう要望いたします。

<回答>

新市としての歴史の一体化は大変良いことだと思います。時間はかかるかもしれませんが、取り組んでまいりたいと思います。

都市計画税の廃止について

<質問>

今後、都市計画税の廃止措置を継続するのですか？

<回答>

都市計画税は旧笠間で導入されていましたが、友部・岩間にはなかったものなので、合併の調整の中で廃止いたしました。今後また、時間をいただいて検討してまいります。

税金の督促状について

<質問>

7月19日に市県民税を納めましたが、本日、7月20日付けの督促状が届きました。不愉快な思いもしますし、郵送料も無駄だと思います。

<回答>

合併による事務の調整などにより、ご迷惑をおかけしましたことをお詫び申し上げます。来年度以降は、十分に注意してまいります。

施政方針について

<要望>

平成18年度施政方針を見て、すばらしいと思いました。このまま実現すればすばらしい笠間市になると思います。その内容のとおり、新笠間市のまちづくりに当たっては、行政と市民の協働が必要だと思います。市職員の職務意識を向上させ、使命感を持った体制をつくり上げていただけるよう要望します。

参加者からは、「市長の話が直接聞けてよかった」、「今後も市政懇談会を開催してほしい」という感想をいただいています。引き続き、皆さんからのご意見・ご要望をお待ちしています。

問合せ先／秘書課 広報広聴グループ TEL内線 225